

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成24年7月13日 午後 1時30分 開会 午後 2時44分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	渡辺順子 奥津勝子 二宮加寿子 土橋秀雄 三澤龍夫 片野哲生 竹内恵美子 高橋富美子 鈴木京子 高橋英俊 吉川重雄 関 威國 坂田よう子 清水弘子
4 説明員	町側出席者 中崎町長 和田参事（危機管理対策担当） 二挺木政策総務部長 岩本総務課長 宮崎総務法制係長 二宮消防長 関口消防署長
5 職務のため 出席した職員	局 長 飯田 隆 書 記 加藤和男
6 協議等の事項	(1) 議会報告会の町民意見と町申し送り事項の確認について (2) その他
7 その他	一般傍聴 なし

(1) 町長あいさつ

次の4件について、お知らせを受けた。

- ① 6月25日から、神奈川県町村情報システム共同化の運用を支障なく開始した。
- ② 防災対策関連事業として、防災ミーティングを7月4日から29日の間に、5カ所で開催。総合防災訓練は、地区防災訓練を8月19日に大磯地区、26日に国府地区で実施し、町職員初動対応訓練も合わせて実施する。
- ③ 8月12日(日)の10時から大磯中学校体育館で、消費生活講演会を開催する。テーマは「放射線による健康への影響と食の安全性」で、東海大学工学部原子力工学科から2名の講師(吉田茂生氏と伊藤敦氏)を招き、2部構成で実施。
- ④ 7月4日付けで住民監査請求の結果に対する住民訴訟が提起された。内容は、おあしす24事業及び医幹に関する公金支出の損害賠償を求めるもの。現在、代理人の選定事務手続きを行っている。

(2) 町報告事項

- ① 救急救命士の処置範囲の実証研究に係る実証地域について、資料をもとに、説明を受けた。

◎主な質疑

問： 救急救命士が教育を受けるのに、予算措置は必要なのか。

答： 1名に対し4日間の研修、本署から両隊2名で4名が研修に参加する予定。研修費用はかからないが、時間外等が発生するとは考えられる。

問： 低血糖の意識障害の可能性のある患者に対し、血糖値の測定を行い、低血糖が確認された場合にブドウ糖溶液の投与を行うというが、どのように投与するのか。

答： 血糖測定器で50ミリデシリットル以下の傷病者に対し、従来の心肺停止の傷病者に使用していたラクテック(乳酸化リンゲル液)の点滴のラインから、輸液という形で40ミリのブドウ糖溶液を投与する。

問： 実証研究に係る実証地域に応募したため、大磯町が選出されたのか。

また、実証研究の流れはどのようなか。対象者は。

答： 湘南地区メディカルコントロール協議会15本部(17隊)が一括して申請し、その中で湘南地域が選定された。

研究期間にどれだけの症例にあたるかによるが、全国の単位となると、かなりの数が検証されるものとする。

問： 大磯では本署隊が対応というが、分署管内での対応は。

答： 分署管内で低血糖が疑われた場合でも、本署から出動することはない。あくまでも、今回の研修に該当する隊での実施となる。

②その他

◎主な質疑

問： 7月4日に国府中学校で開催された防災ミーティングで、出席者に配布する資料が不足していたり、防災倉庫の横に張ってある防災倉庫の中身のリストが実際の数と違っていたりということがあったが、反省等は。

答： 資料は、町で30部用意していたが、地区での動員があり、50名ほどの参加があったため、不足した。防災倉庫内の点検は、ミーティングにおいて確認したいということで、見る機会を作らせてもらった。防災備蓄品の再確認・再配備に向けて、町としても訓練を通して進めていきたい。

問： 防災倉庫の中に食料がなかったようだが。

答： 国府中学校の防災備蓄倉庫の中には、水は置いてあるが、食料の配備が現状ない。町内に10カ所以上の防災備蓄倉庫があり、そこに分散している形になっている。避難所に近い防災備蓄倉庫には水や食料、毛布等を再配備するよう考えている。今後、国府中学校に防災備蓄倉庫をもう1基移設している予定であり、必要な物品を配備して行く。

問： 大磯市で「大磯妻」という人形が売られており、人気があるようだが、ホームページで確認したら、裸体の人形だった。町民からも不快を感じるとの相談を受けたが、町長はどう認識しているか。

答： 実物を確認し、大磯町のにぎわいとして関与している部分、裸体ということで教育的な観点とか精神的な面を考慮し、対応を考えていきたい。

問： 大磯駅前洋館活用事業者選定委員会の公開について、第1回目は公開とあるが、第2回目のプレゼンも公開か。

答： 公開する。ただし、第3回目の最終的な決定は非公開で行う。

(3) 各委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

(4) 報告事項

①委員長等からの報告

○6/28・29 議会運営委員会行政視察の概要・・・高橋(英)委員長

○7/13 議会運営委員会の概要・・・高橋(英)委員長

○6/26・7/5 議会だより編集委員会の概要・・・鈴木委員長

○監査委員からの報告・・・三澤委員

○農業委員からの報告・・・片野委員

②7/3 県町村議会議長会定期総会・役員会及び県町村情報システム共同事業視察の概要・・・渡辺議長

- ③7/3 新湘南国道藤沢大磯線新設改良促進協議会委員会の概要
・・・奥津副議長
- ④7/5・6 第2回市町村議会議員短期研修の概要・・・竹内議員
- ⑤視察来庁議会の対応について
 - 6/21 静岡県小山町議会（議会改革への取り組み）・・・渡辺議長
 - 7/11 栃木県高根沢町議会（議会活性化の取り組み・広聴活動）
・・・奥津副議長

(5) 協議事項

- ①議会報告会の町民意見と町申し送り事項の確認について
5月に開催した議会報告会で出た町民意見等を整理し、町へ申し送りし、町側からの回答を求めることとなった。回答期限は設けない。

(6) 事務局からの報告

- ①平成目安箱への投書と回答について
本庁舎1階ロビーに設置している平成目安箱に、6月26日に「町議会議事録は、正しく記録されているか」という投書があり、回答文書と合わせ、報告した。
- ②議員手帳仕様アンケート及び会議ノートの購入希望について
県町村議会議長会が発行している「議員手帳」と「会議ノート」について、アンケートの依頼と購入希望を確認した。
- ③その他
 - ・8月31日に開催される自治振興セミナーへの参加希望について確認した。
 - ・米国ラシン市へ町内の高校生4人が派遣されるが、今回は交流30周年であり、議長交際費から記念に何か贈ってはどうかという意見があった。
 - ・次回の議員全員協議会は、8月20日(月)午後1時30分からの予定